

原子力規制委員会原子力規制庁殿

NDCの核燃料物質使用施設等保安規定の  
変更認可申請について

2022年2月

MHI原子力研究開発株式会社

原子力規制庁は2020年9月11日の官報で、個人線量計測定の信頼性確保の義務化を要求する告知(2023.10.1施行開始)している。

個人線量計測定の信頼性確保とは、「ISO9001取得等の品質保証を確保した線量測定ができる機関」及び「JAB認定等を受けた線量測定機関」が個人線量計の測定を実施することとなっている。

現在、個人及び環境線量測定は、自社にて測定・評価しているが、今後は、自社測定でなく、上記した機関で認定された品証確保済みのメーカーに外部委託する。

新たに導入する線量計は現行仕様を踏襲

項目	現行仕様	更新仕様
外観		
品質保証	-	ISO9001取得済み
JAB認定	-	取得済み
線量計種類	熱蛍光線量計(TLD)	光刺激蛍光線量計(OSL)
線種	X・ $\gamma$ 、 $\beta$ 線	X・ $\gamma$ 、 $\beta$ 線
報告線量範囲	0.1mSv～10Sv	0.1mSv～10Sv
測定エネルギー範囲	10keV～10MeV	5keV～10MeV

### 3. 別表10及び別表11の記載について

別表第10 周辺監視区域内外における線量当量率の測定

測定項目	測定方法と測定箇所	頻度
線量当量率等(γ線)	モニタリングポスト 1ヶ所	連続
	サーベイメータ 15ヶ所	月1回
線量	<b>光刺激蛍光線量計又は熱蛍光線量計</b> 11ヶ所	3月ごと

別表第11 外部及び内部被ばくによる線量の測定

(1) 外部被ばくによる線量

対象者	個人線量計	頻度
放射線業務従事者	<b>光刺激蛍光線量計バッチ 又は熱蛍光線量計バッチ</b>	<b>1月間ごと並びに必要な都度</b>
	ポケット線量計	必要な都度
一時立入者	ポケット線量計	立入の都度。ただし、見学等のために管理区域へ立ち入らせる場合は、代表者にのみ着用させることができる

別表10と別表11のいずれにも光刺激蛍光線量計を追記している。熱蛍光線量計を併記しているのは緊急時等に自社にて線量測定することを想定しているため。

**MOVE THE WORLD FORWARD**

**MITSUBISHI  
HEAVY  
INDUSTRIES  
GROUP**